

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
-------	-------	-------	---------	-------------

継続	予算事業コード	4250
----	---------	------

No.	301	補助金名	黒船祭執行会補助金
-----	-----	------	-----------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則
---------	-------------

総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します		

補助対象者	黒船祭執行会	事務局等	観光交流課 観光企画係
-------	--------	------	-------------

補助金の性質	活動費的補助
--------	--------

補助開始年度	S9	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし
--------	----	--------	----	-----	----	------------	----

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	30,000,000	30,000,000
R07	27,000,000	3,000,000	30,000,000
R06	22,550,000	15,000,000	37,550,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	17,500,000	15,050,000	32,550,000
R05	15,350,000	13,500,000	28,850,000
R04	4,798,000	13,000,000	17,798,000
R03	610,000	8,900,000	9,510,000
R02	36,000	2,364,000	2,400,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	昭和9年に開港80周年事業として、開港に尽力された先人を顕彰するため、開始された。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	R7特財：市町村振興協会3,000千円 県補助なし(第74回から県補助打ち切り) ※第84回:東アジア文化都市2023静岡県地域連携プログラム事業 3,500千円
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	開港に尽力された先人を顕彰し、記念イベントを開催、下田の発展に寄与している。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	約1/3(かつては1/2)を市民等からの寄附に頼っているが、年々目減りしている。現状、事業費に占める補助金の割合が高く、補助金がなければ実施は不可能。

○評価点 (10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示)

公益性の所在	※① 日米交流、国際交流の祭典として公益性は高い。	10
市が補助すべき理由	開国のまち下田市として昭和9年から引き継がれた伝統ある行事を、未来に繋いでいくため補助が必要。	10
目的・内容	※② 開港の歴史を記念し、先駆者を顕彰し、併せて記念イベントを実施し、下田の発展に寄与するため。	10
補助金の主な使途	式典費、行事費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③ 積み上げにより積算。 ※例年ベースで算出、中止を挟んでの開催や市長の交代等事業内容が変わる要因はあり。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	第86回繰越金 4,720千円 ・ 第85回繰越金 2,945千円 第84回繰越金 2,950千円 ・ 第83回繰越金 1,427千円 第82回繰越金 1,445千円 ・ 第81回繰越金 2,992千円 第80回繰越金 2,405千円 ・ 第79回繰越金 2,370千円	10
成果・費用対効果	※④ 下田開港記念事業として、下田市が日米親善、国際交流を行う意義は大きい。宿泊客の増加など観光振興に成果を上げることが、大きな目的の一つであり、黒船祭に期待を寄せられることは大きい。 ※参加者推計：第86回 130,920人、第85回 207,290人、第84回 203,200人、第83回 169,900人、第81回・第82回中止、第80回 217,400人、第79回 205,900人	10

①公益性	10
------	----

②必要性	10
------	----

③適格性	10
------	----

④効果	10
-----	----

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光施設係	記載者職・氏名	観光施設係長 中堀 啓司
継続	予算事業コード	4253		
No.	302	補助金名	下田市夏期海岸対策協議会補助金	
根拠法	下田市海水浴場に関する条例			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します		
補助対象者	下田市夏期海岸対策協議会	事務局等	観光交流課 観光施設係	
補助金の性質	活動費的補助			
補助開始年度	S43	補助終期設定	なし	補助率
				なし
			1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	46,000,000	46,000,000
R07	24,500,000	24,000,000	48,500,000
R06	24,550,000	22,000,000	46,550,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	24,550,000	22,000,000	46,550,000
R05	25,170,000	17,000,000	42,170,000
R04	18,500,000	17,000,000	35,500,000
R03	16,000,000	10,500,000	26,500,000
R02	6,000,000	5,000,000	11,000,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興のため 風紀の乱れ、出店者間でのトラブル頻発により、昭和43年に海水浴場の善良な管理を行うため、夏期対策協議会が組織された。また、昭和45年には、浜地を市が一括占用し各支部が管理をする現行の体制となった。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	R6特財：ふるさと応援基金10,000千円、世界一の海づくり基金12,000千円
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	海水浴場の良好な環境の保持及び市民、来遊客が安心して遊泳できるような管理運営体制を維持することに寄与した。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	現時点では、夏期对各支部の独自収入及び市補助金により、管理運営費用を賄っている。また、条例により、海水浴場の良好な環境の保持及び危険防止等によりが安心して遊泳できるよう管理運営することが市の責務となっており、廃止は考えられない。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	観光立市下田として、海水浴場の安全確保・環境向上のための役割が責務となっている。	10
市が補助すべき理由	※②	下田市海水浴場に関する条例により、海水浴場の良好な環境の保持及び危険防止等により市民及び来遊客が安心して遊泳できるよう管理運営することが市の責務となっている。	10
目的・内容		海水浴場等による水難の未然防止及び水難者の捜索救護並びに海水浴場等の管理運営に必要な対策を実施することを目的とする。	10
補助金の主な使途	※③	事業費（監視費、支部事業費、清掃業務費等）	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		各事業費の積み上げで積算。その他、世界一の海づくり基金を充当。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R06繰越金 1,451千円 搜索基金R06末現在高 534,118円 R05繰越金 1,133千円 搜索基金R05末現在高 534,108円 R04繰越金 1,186千円 搜索基金R04末現在高 534,098円 R03繰越金 1,195千円 搜索基金R03末現在高 534,088円 R02繰越金 1,100千円 搜索基金R02末現在高 534,078円	10
成果・費用対効果	※④	ライフセイバー等の活動により、水難事故などの防止に大きな役割を果たしている。 海水浴客数 R6:206,060人、R5:266,660人、R4:241,600人、R3:141,650人、R2:184,000人、R1:413,310人、H30:496,100人、H29:589,100人	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 10

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉			
継続	予算事業コード	4250					
No.	303	補助金名	下田市観光協会補助金				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興			
	施策	戦略的な観光プロモーションを推進します					
補助対象者	(一社) 下田市観光協会	事務局等	(一社) 下田市観光協会				
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	—	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	29,430,000	10,500,000	39,930,000
R07	32,985,000	0	32,985,000
R06	37,000,000	0	37,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	37,000,000	0	37,000,000
R05	36,751,000	0	36,751,000
R04	32,000,000	0	32,000,000
R03	30,350,000	0	30,350,000
R02	22,860,000	0	22,860,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興組織設立による
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	下田市観光交流会の運営と活動を支援し、イベント開催、各種宣伝を通じ、観光客の誘客のほか、観光の振興に寄与している。
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金（外国人観光案内分） 下田市観光協会補助金（OTA等広報分） 下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）ほか
廃止の見込み、廃止の影響	各種事業の継続が難しいものと考えられ、観光の衰退を招くことが予想される。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	観光振興の中核を担う団体であり、情報発信、誘客宣伝及び観光関連団体との連絡調整を担うなど公益性は高い。	10
市が補助すべき理由	※②	観光協会の行う情報発信、誘客宣伝事業は公益性の高い事業であるため市による補助は適当である。	10
目的・内容		下田市観光協会の運営と活動を支援し、イベントの開催や各種宣伝を通じて観光客の誘客に努めるとともに観光の振興を図る。	10
補助金の主な使途	※③	宣伝事業費、事業費、運営費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		各事業の積み上げで積算。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		問題なし	10
成果・費用対効果	※④	イベントの開催や誘客キャンペーン等の実施により、来遊客の減少に一定の歯止め効果をあげている。今後、自主財源の確保に努め市補助金の削減を図る必要がある。	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 10

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
継続	予算事業コード	4250		
No.	304	補助金名	花火大会補助金	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	戦略的な観光プロモーションを推進します		
補助対象者	伊豆白浜観光協会、伝統河内花火保存会、夏季花火大会執行委員会		事務局等	各団体
補助金の性質	活動費的補助			
補助開始年度	—	補助終期設定	なし	補助率
				なし
			1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	35,000	1,200,000	1,235,000
R07	1,235,000	0	1,235,000
R06	1,235,000	0	1,235,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	1,235,000	0	1,235,000
R05	1,235,000	0	1,235,000
R04	50,000	0	50,000
R03	50,000	0	50,000
R02	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興のため
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	地域振興、観光客誘客のために寄与している。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	花火大会の継続、伝統行事の継承が難しくなることが予想される。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	地域振興のみならず、観光客誘客のための花火打ち上げということで、公益性はある。	9
市が補助すべき理由	※②	イベントとして、観光誘客及びまちの活性化に寄与する事業であり市が補助することは妥当である。	8
目的・内容		観光振興のため	8
補助金の主な使途	※③	行事費(花火打ち上げ費用)	9
予算要求額の算出根拠・算出方法		白浜海の祭典花火大会 100千円、下田納涼花火大会 1,000千円、河内手筒花火大会135千円 ※R05：3大会全て実施 R04・R03：白浜のみ R02：中止	9
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	8
成果・費用対効果	※④	市外からの来遊客の増加については未知数であるが、海水浴以外の+αとして花火大会による顧客満足度向上につながっている。	8

①公益性 9

②必要性 8

③適格性 9

④効果 8

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
継続	予算事業コード	4253		
No.	306	補助金名	伊豆下田地区教育旅行協議会補助金	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します		
補助対象者	伊豆下田地区教育旅行協議会	事務局等	観光交流課 観光企画係	
補助金の性質	運営費的補助			
補助開始年度	H13	補助終期設定	なし	補助率
				なし
			1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	100,000	0	100,000
R07	100,000	0	100,000
R06	60,000	0	60,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	60,000	0	60,000
R05	60,000	0	60,000
R04	260,000	0	260,000
R03	35,000	0	35,000
R02	35,000	0	35,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	須崎地区で定着していた体験型修学旅行を他地区(田牛・白浜・外浦)へ広めるため(平成13年協議会発足)
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	終了 国 2,185千円 食と地域の交流促進対策交付金事業(H23,H24) 終了 県 180千円 子ども農山漁村交流プロジェクト支援事業(H23) ※直接伊豆下田地区教育旅行協議会へ補助
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	市全体で取り組んでいるという姿勢が他地域に安心感を与え、中京地区及び神奈川地区の教育旅行生を増やしてきた。また、静岡県東部地域においても誘致活動を行い、近隣地域からも受け入れを行っている。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	下田市全体として、キャラバン等のPR活動が出来なくなり、旅行数の減少が予想される。

○評価点 (10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示)

公益性の所在	※① 各地区の観光協会等による広域的な組織で、教育旅行に係る情報発信、誘致活動を行うなど公益性は高い	8
市が補助すべき理由	※② 共同宣伝事業や、大きな団体の受入に備えるためにも、協議会の必要性は高い	10
目的・内容	小中学生の修学旅行及び体験学習等の教育旅行誘致推進	8
補助金の主な用途	通年開設しているHP維持管理費、教育旅行活動に係る備品購入費等	9
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③ 定額補助(最低限のホームページ維持管理経費分を計上)及び備品購入見積等	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	R06繰越金 46,807円 ・ R05繰越金 34,928円 R04繰越金 69,098円 ・ R03繰越金 66,835円 R02繰越金 34,700円 ・ R01繰越金 168,503円	9
成果・費用対効果	※④ 受入実績 R6:15校(1,182人)、R5:15校(1,157人)、R4:16校(1,297人)、R3:14校(1,218人)、R2:10校(544人)、R1:21校(2,338人)、H30:29校(4,712人)、H29:28校(4,821人) 各地区の民宿の減少により、各地区共同での受け入れ等調整が必要となっている。令和元年度をもって須崎、外浦地区の受入れ終了。	10

①公益性 8

②必要性 9

③適格性 9

④効果 10

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
継続	予算事業コード	4253		
No.	307	補助金名	自然体験活動推進協議会補助金	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します		
補助対象者	下田市自然体験活動推進協議会	事務局等	観光交流課 観光企画係	
補助金の性質	活動費的補助			
補助開始年度	—	補助終期設定	なし	補助率
				なし
			1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	1,500,000	1,500,000
R07	180,000	1,500,000	1,680,000
R06	370,000	3,000,000	3,370,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	90,000	1,800,000	1,890,000
R05	1,370,000	2,000,000	3,370,000
R04	0	1,350,000	1,350,000
R03	50,000	1,500,000	1,550,000
R02	62,000	1,400,000	1,462,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	一季集中型の観光から四季型・通年型観光地への転換を目指し、体験型観光メニューの充実を図るため。また、開港150周年記念事業より継続している。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	R7特財：世界一の世界海づくり基金1,500千円 都市農村共生・対流交付金事業(国庫補助) H25:4,100千円 H26:4,529千円、 市町村振興協会補助金 H27:3,500千円 地域住民生活等緊急支援事業分(国庫補助) H27:2,800千円
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	四季型、通年型観光地への転換を目指し、体験型メニューの充実を図っている。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	多様化する観光需要に対応が出来ず、下田の特性を活かした観光まちづくりが困難となる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※① 観光誘致を柱として、地域の子どもの自然体験教育や自然環境保護にも関連している。また、下田市観光まちづくり推進計画に沿った事業を実施予定であるため、十分な公益性がある。	9
市が補助すべき理由	※② 協議会があることにより、それぞれのボランティア的な個別の活動を連携させることは必要であり、協議会の活動が教育旅行の誘致、伊豆半島ジオパーク構想の推進に繋がっていく。 観光基本計画に掲げる「世界一の世界海づくり事業」プロジェクトの実施主体であることから補助は必要。	9
目的・内容	自然を活かした観光の掘り起こし。そして自然をテーマとしたガイド組織を設立し、案内を通して訪れる人とのふれあいや交流を促進する。	9
補助金の主な使途	マリン講座、自然講座、モニターツアー、ジオ関係、海議開催、体験メニューのプロモーション。	9
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③ 積み上げにより積算。その他、世界一の世界海づくり基金を充当。	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	R06繰越金 502,791円 ・ R05繰越金 510,545円 R04繰越金 611,080円 ・ R03繰越金 695,743円 R02繰越金 730,939円 ・ R01繰越金 862,358円	8
成果・費用対効果	※④ 本活動により育成した指導者が教育旅行の体験指導を行うなど、他の観光事業にも関わりを持つようになってきている。 ニューツーリズム等自然体験型の観光の需要は今後益々増えていく。	9

①公益性 9

②必要性 9

③適格性 8

④効果 9

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光施設係	記載者職・氏名	観光施設係長 中堀 啓司
継続	予算事業コード	4350		
No.	308	補助金名	海岸砂防柵設置事業補助金	
根拠法	下田市海水浴場整備事業補助金交付要綱			
交付要綱等名称	下田市海水浴場整備事業補助金交付要綱			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します		
補助対象者	長田区 原田区 外浦区	事務局等	観光交流課 観光施設係	
補助金の性質	活動費的補助			
補助開始年度	—	補助終期設定	なし	補助率
			なし	1件当たり補助上限額
				なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	400,000	0	400,000
R07	400,000	0	400,000
R06	360,000	0	360,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	350,000	0	350,000
R05	200,000	0	200,000
R04	185,000	0	185,000
R03	360,000	0	360,000
R02	334,000	0	334,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	砂飛散のため、道路、家屋等に被害が出ていた。そのため地域住民が中心となり対策を施し、市としてもその費用の一部を負担したことから始まる
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	白浜大浜の砂防柵設置については資材の現物支給あり
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	砂の飛散防止に一定の効果あり
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	飛砂防止に大きな影響が出る。特に、白浜大浜に沿う国道135号への影響は計り知れない。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	道路への飛砂を減少させる目的があり、公益上役割は大きい	10
市が補助すべき理由	※②	飛砂防止、自然環境の保護・保全、安全対策上必要である	10
目的・内容		自然環境の保護・保全	10
補助金の主な使途	※③	資材費、機械借上げ料	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		400千円（原田80千円、外浦320千円） ※外浦については県よりの資材提供なく、地元負担を強いられている。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	砂の飛散防止、自然環境の保護 ※長田区はH23から飛散がなかったため、事業実施を見送っている。	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 10

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
-------	-------	-------	---------	-------------

継続	予算事業コード	4253
----	---------	------

No.	309	補助金名	まちおこしカジキサポートクラブ補助金
-----	-----	------	--------------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則
---------	-------------

総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します		

補助対象者	まちおこしカジキサポートクラブ	事務局等	まちおこしカジキサポートクラブ
-------	-----------------	------	-----------------

補助金の性質	運営費的補助
--------	--------

補助開始年度	H20	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし
--------	-----	--------	----	-----	----	------------	----

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	700,000	0	700,000
R07	700,000	0	700,000
R06	700,000	0	700,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	700,000	0	700,000
R05	700,000	0	700,000
R04	700,000	0	700,000
R03	0	0	0
R02	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	注目度や事業規模等も大きくなっていることから、平成20年度から本補助が開始された。(第30回大会から開始)
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	世界最大級である国際カジキ釣り大会を開催することにより、下田の夏のイベントとして、十分なPR効果となっている。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	国際カジキ釣り大会は他市町からの誘致オファーがあり補助金を廃止すると、大会が他市町へ移る可能性が大である。カジキ釣り大会と同時開催している夏のイベントとして定着しているマリニフェスタの開催も危ぶまれる。

○評価点 (10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示)

公益性の所在	※① カジキサポートクラブは本大会の市民主導によるサポート団体であり、官民協働事業の一翼を担っている。	8
市が補助すべき理由	国際カジキ釣り大会は、市内経済への波及効果も大きく、事業を円滑に実施するため必要である。	8
目的・内容	※② 「国際カジキ釣り大会」は世界最大級のカジキ釣り大会であり、下田の夏のイベントとして定着している。事業の成功を収めることにより、十分なPR効果が期待できることから補助を行うものである。カジキ釣り大会とマリニフェスタを同時開催している。	9
補助金の主な使途	運営費	8
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③ 定額補助 700,000円 ※R2・R3はカジキ釣り大会は中止、ヨットはR2のみ実施。補助金変更申請により0円とし繰越金等で運営する。R4は通常ベースを見込み通常開催。	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	R06繰越金 387,184円 ・ R05繰越金 257,180円 R04繰越金 1,064,332円 ・ R03・R02繰越金 R01と同額 R01：会場料、消耗品費の減額による繰越金の増 R01繰越金 837,283円 ・ H30繰越金 570,568円 H29繰越金 292,758円 ・ H28繰越金 36,977円	8
成果・費用対効果	※④ 年々参加艇が増加しており、大会規模が大きくなっている。大会参加者による市内各事業者への経済効果。 〔参加艇数〕 H20(30回記念)111艇、H21 92艇、H22 96艇、H23 93艇、H24 93艇、H25 99艇、H26 93艇、H27 82艇、H28 86艇、H29 86艇、H30 132艇、R1 109艇、R2・R3中止、R4 94艇、R5 116艇、R6 121艇	9

①公益性	8
------	---

②必要性	9
------	---

③適格性	8
------	---

④効果	9
-----	---

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
継続	予算事業コード	4250		
No.	312	補助金名	下田市観光協会補助金（外国人観光案内分）	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	インバウンド観光の受入体制を強化します		
補助対象者	下田市観光協会	事務局等	下田市観光協会	
補助金の性質	施策的補助			
補助開始年度	H28	補助終期設定	なし	補助率
			なし	1件当たり補助上限額
				なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	0	0
R07	0	2,000,000	2,000,000
R06	0	2,000,000	2,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	0	2,000,000	2,000,000
R05	0	1,500,000	1,500,000
R04	0	1,500,000	1,500,000
R03	300,000	1,000,000	1,300,000
R02	70,000	1,100,000	1,170,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	インバウンド需要等の増加による受け入れ体制の整備
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	R6特財：ふるさと応援基金2,000千円
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	外国人観光客に対する受け入れ体制強化により、インバウンド需要等への対応に寄与している。
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金 下田市観光協会補助金（OTA等広報分） 下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）ほか
廃止の見込み、廃止の影響	外国人観光客の受け入れに必需であり廃止は考えられない。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※① 観光振興のためインバウンド需要を取り込む必要がある	10
市が補助すべき理由	外国人観光客の増加に伴い、市が関与し受入環境整備を進める必要がある 平成28年度より委託費から補助金へ変更。	9
目的・内容	※② 観光協会駅前案内所に英語対応スタッフ1名を配置	10
補助金の主な使途	英語対応スタッフ1名配置に係る人件費等	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③ 英語対応スタッフ1名配置に係る人件費等の約1/2	9
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④ 駅前案内所利用外国人数 R5:787人、R4:345人、R3:174人、R2:261人、R1:968人、H30:1,002人、H29:954人 将来的には英語だけでなく、他の言語対応も必要である。	8

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 8

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調査

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
継続	予算事業コード	4250		
No.	314	補助金名	下田市観光協会補助金（OTA等広報分）	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	戦略的な観光プロモーションを推進します		
補助対象者	下田市観光協会	事務局等	下田市観光協会	
補助金の性質	施策的補助			
補助開始年度	H29	補助終期設定	なし	補助率
				なし
			1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	0	0
R07	0	4,000,000	4,000,000
R06	0	4,000,000	4,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	0	4,000,000	4,000,000
R05	0	4,000,000	4,000,000
R04	0	2,000,000	2,000,000
R03	0	2,000,000	2,000,000
R02	0	2,000,000	2,000,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	旅行業界におけるOTA(オンライン・トラベル・エージェント)の情報発信、特にインバウンド、個人旅行においての重要性が高まっていることから観光宣伝として実施するもの。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	R6特財：ふるさと応援基金4,000千円
代替手段との比較	情報発信は様々な多くの手法により広報することが重要と考えており、その意味において、“代替”と言った観点は無い。
当初目的の達成度	OTA情報発信、インバウンド、個人旅行における観光宣伝に寄与している。
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金 下田市観光協会補助金（外国人観光案内分） 下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）ほか
廃止の見込み、廃止の影響	個人旅行等においてOTAの重要性は高まっており、廃止はあり得ないと考える。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	下田の観光宣伝を実施するもので、観光を主要産業とする下田市にとっては、公共性・重要性は高い。	10
市が補助すべき理由	※②	特定施設・店舗等の宣伝でなく、下田市の海、自然、イベント等の観光資源を情報発信するものであるため。	9
目的・内容		OTAを活用しインターネット上で下田の観光宣伝を実施する。 ※OTAとは店舗を持って営業活動を行っている従来型の旅行会社(リアルエージェント)に対し、インターネット上だけで取引を行う旅行会社。	10
補助金の主な用途	※③	OTAによる情報発信	10
予算要求額の算出根拠・算出方法		主要OTA 3社による情報発信 リクルートじゃらん、楽天トラベル、Yahoo!トラベル	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	リクルートじゃらん(情報誌、ホームページ、アプリ)、楽天トラベル(特集、クーポン)、JTBYahoo!(特集、クーポン)により、5月から12月にかけて下田の観光情報を発信し、市全体の宿泊客数増加に貢献。	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 10

④効果 10

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
継続	予算事業コード	4250		
No.	316	補助金名	下田水仙ツーデーマーチ補助金	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します		
補助対象者	下田水仙ツーデーマーチ実行委員会	事務局等	観光交流課 観光企画係	
補助金の性質	運営費的補助			
補助開始年度	H27	補助終期設定	なし	補助率
				なし
				1件当たり補助上限額
				なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	1,000,000	1,000,000
R07	1,270,000	0	1,270,000
R06	1,270,000	0	1,270,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	1,270,000	0	1,270,000
R05	1,270,000	0	1,270,000
R04	750,000	0	750,000
R03	0	0	0
R02	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	通算27回目を迎えるウォーキングイベント。多くのウォーキングリーグの認定大会であり全国から多くのウォーカーが参加する。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	ウォーキングイベントを通じ、来遊参加者と地域住民との交流活性、地域住民の健康維持、観光PRの拡大に寄与している。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	大会開催が困難となる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※① 実行委員会形式により観光交流課が実施。	10
市が補助すべき理由	実行委員会形式により観光交流課が実施している。	10
目的・内容	※② ウォーキングイベントを活用し来遊参加者と地域住民の交流活性、地域住民の健康維持・増進、観光PRの拡大に寄与する。	9
補助金の主な用途	運営費	8
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③ 参加者負担金、協賛金、市補助金により運営。大会実施予算から参加者負担金、協賛金収入を除いた額を補助。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	R06繰越金 1,136,137円 ・ R05繰越金 716,746円 R04繰越金 286,904円 ・ R03繰越金 116,521円 R02繰越金 126,521円 ・ R01繰越金 177,518円	10
成果・費用対効果	※④ 下田市を代表する季節の花「水仙」を通じて、全国へ向けて「暖かな伊豆の早春」をPRし、交流人口増加を図った。 R6：延623人(一般462人、地元161人)、R5：延722人(一般450人、地元272人)、R4：延517人(一般320人、地元197人)、R3・R2:中止、R1：延514人(一般406人、地元108人)	10

①公益性 10

②必要性 10

③適格性 9

④効果 10

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉			
継続	予算事業コード	4250					
No.	318	補助金名	下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興			
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します					
補助対象者	下田市観光協会	事務局等	下田市観光協会				
補助金の性質	施策的補助						
補助開始年度	H30	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	0	0
R07	0	2,000,000	2,000,000
R06	0	2,000,000	2,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	0	2,000,000	2,000,000
R05	0	2,000,000	2,000,000
R04	0	2,000,000	2,000,000
R03	0	2,000,000	2,000,000
R02	0	2,000,000	2,000,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	H29年夏期の記録的連続雨天(関東地方)の影響により、関東地方の海水浴客数が大幅減となった。当市においても、同期間における雨は4日間であるにもかかわらず大きな影響を受けてしまった。天気予報と実際のずれも多く、機会ロスを減らす策としてライブカメラを設置し下田の海をライブ配信する。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	R6特財：ふるさと応援基金2,000千円
代替手段との比較	紙パンフレットだけでは伝えきれない、今の海の美しさを伝える。
当初目的の達成度	年間を通した下田の海の魅力を発信することにより、観光客誘客に寄与している。
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金 下田市観光協会補助金（外国人観光案内分） 下田市観光協会補助金（OTA等広報分）ほか
廃止の見込み、廃止の影響	主要海岸の魅力を発信する事業で継続性が必要。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市が直接実施してもよい事業であるが、今後の展開(スポンサーの獲得等)の可能性を考慮し、観光協会により実施することとした。	9
市が補助すべき理由		市の施策として、リアルタイムに下田の海をPRする。	8
目的・内容	※②	目的 年間を通した下田の海の魅力発信により観光客を呼び込む。 内容 市内4カ所(白浜大浜、白浜中央、外浦、爪木崎)のビーチに定点ライブカメラを設置しユーチューブにより動画配信を実施するほか市内・市外の拠点にタブレットを設置し放映。	10
補助金の主な使途		市内3カ所(白浜大浜、白浜中央、外浦)の海水浴場及び爪木崎に加え、イベント開催時等に設置するライブカメラ等の維持管理費用。	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	ライブカメラの維持管理費、動画ライブ配信に要する経費の積み上げにより算出。通信費、メンテナンス費、システム管理費 ほか	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	7・8月最盛期の機会ロスを防ぎ、さらに通年で海の魅力発信することで観光交流客数の増を目指す。当市の海水浴客は約26万人(R5)であるが、数%の集客の増減であっても、その経済効果は大きい。ユーチューブ広告収益化。	10

①公益性 9

②必要性 9

③適格性 10

④効果 10

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調査

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
継続	予算事業コード	4250		
No.	321	補助金名	黒船祭協賛行事補助金	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	地域資源を活かした魅力を向上させる取り組みを推進します		
補助対象者	黒船祭協賛行事実施団体		事務局等	観光交流課 観光企画係
補助金の性質	活動費的補助			
補助開始年度	R1	補助終期設定	なし	補助率
				なし
			1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	57,000	4,100,000	4,157,000
R07	157,000	4,000,000	4,157,000
R06	1,157,000	3,000,000	4,157,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	1,157,000	3,000,000	4,157,000
R05	606,674	3,000,000	3,606,674
R04	105,222	3,000,000	3,105,222
R03	122,518	1,500,000	1,622,518
R02	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	補助金交付事務の見直しにより、黒船祭執行会補助金に含まれていた協賛行事実施団体への補助を直接市が交付する形に改めたことによる。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	R6特財：ふるさと応援基金3,000千円
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	黒船祭におけるにぎわい創出、日米交流の促進に寄与している。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	黒船祭開催期間における協賛行事の開催が困難となる

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	黒船祭協賛行事実施団体に対する補助。旧町内におけるにぎわいの創出等に寄与。	8
市が補助すべき理由		にぎわいの創出、日米交流の促進のため。	9
目的・内容	※②	黒船祭におけるにぎわいの創出、日米交流の促進を目的とし、商店街開国市、日米親善ビーチバレーボール大会、黒船祭協賛ゴルフ大会、黒船祭サーフィンコンテストに対する補助。	8
補助金の主な使途		協賛行事開催経費（飲食費、人件費等を除く）	8
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	商店街開国市 4,000千円(仮設トイレ250千円×2箇所含む)、ビーチバレー大会 57千円、サーフィン大会 50千円、ゴルフ大会 50千円	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	第86回：開国市57,000人、ゴルフ大会205人、ビーチバレー70人、サーフィン150人 第85回：開国市91,000人、ゴルフ大会205人、ビーチバレー70人、サーフィン150人 第84回：開国市86,300人、ゴルフ大会175人、ビーチバレー150人、サーフィン中止 第83回：開国市78,500人、ゴルフ大会中止、ビーチバレー60人、サーフィン160人 第81回・第82回：黒船祭中止	10

①公益性 8

②必要性 9

③適格性 9

④効果 10

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
-------	-------	-------	---------	-------------

継続	予算事業コード	4250
----	---------	------

No.	324	補助金名	下田市観光協会補助金（地域プロモーション列車分）				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則						
総合計画の位置付け	分野	3	観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興		
	施策	戦略的な観光プロモーションを推進します					
補助対象者	下田市観光協会		事務局等	下田市観光協会			
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	H29	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	0	0
R07	700,000	0	700,000
R06	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	0	0	0
R05	0	0	0
R04	0	0	0
R03	600,000	0	600,000
R02	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	伊豆急行が平成29年2月より運行を開始する地域プロモーション列車において、下田市車両を装飾しPRをするもの。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	下田市観光協会補助金 下田市観光協会補助金（外国人観光案内分） 下田市観光協会補助金（OTA等広報分） 下田市観光協会補助金（ビーチライブカメラ設置分）ほか
廃止の見込み、廃止の影響	公共交通と連携した広域事業のため継続が必要。 概ね3年に一度の更新であるが、次回以降は現時点で未定。 ※参考：前回更新期間(2021.3～2024.8)

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	下田の観光宣伝を実施するもので、観光を主要産業とする下田市にとっては、公共性・重要性は高い。	9
市が補助すべき理由	※②	公共交通機関と連携した観光協会の行う情報発信、誘客宣伝事業として公益性の高い事業であるため市による補助は適当である	9
目的・内容		下田市車両へのステッカーやポスターによる装飾を施し、PR・誘客を図るとともに、利用者のSNS等による発信等による効果も期待する。	9
補助金の主な使途		事業費	10
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	PR装飾に係る経費 事業費1,250千円（下田市700千円、観光協会200千円、商工会議所200千円、水族館150千円）※4年に一度、車両検査のため装飾の更新が発生(R7該当年度)	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	10
成果・費用対効果	※④	伊豆急行沿線の6市町がそれぞれの車両を特産品や観光素材で装飾し地域プロモーションを実施。利用者からは多くの好評の声をいただいている状況。	10

①公益性	9
------	---

②必要性	9
------	---

③適格性	10
------	----

④効果	10
-----	----

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
-------	-------	-------	---------	-------------

継続	予算事業コード	4250
----	---------	------

No.	332	補助金名	宿泊業の経営力基盤強化事業費補助金
-----	-----	------	-------------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則
---------	-------------

総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策4 就労支援の充実
	施策	地域企業の経営基盤の安定・強化を支援します		

補助対象者	宿泊事業者(旅館業法第3条第1項に規定する許可を受けた者)	事務局等	観光交流課 観光企画係
-------	-------------------------------	------	-------------

補助金の性質	施策的補助
--------	-------

補助開始年度	R6	補助終期設定	R7(予定)	補助率	1/4	1件当たり補助上限額	あり
--------	----	--------	--------	-----	-----	------------	----

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	0	2,500,000	2,500,000
R07	250,000	6,000,000	6,250,000
R06	41,000	6,400,000	6,441,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	41,000	6,400,000	6,441,000
R05	0	0	0
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	コロナ禍を経て深刻な人手不足に陥る宿泊事業者に対し、生産性の向上と雇用の安定を図るため、県及び市町において、業務効率化や生産性向上の取組や社員寮の整備に要する費用の一部を補助するもの。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	県補助 1/4 ※県と市との並行補助(1/2) R6特財：ふるさと応援基金10,500千円
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	—
同一団体への他の補助金の有無	宿泊業の経営力基盤強化事業費補助金(静岡県)
廃止の見込み、廃止の影響	宿泊事業者が生産性向上と雇用の安定を図るための環境整備を完了するためには、一定期間、補助事業を実施する必要がある、現時点で県は令和7年度も補助事業を実施する予定である。

○評価点 (10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示)

公益性の所在	※① 宿泊事業者の深刻な人手不足対策として当該補助金を交付するもので、観光を主要産業とする本市にとって、公益性は高い。	9
市が補助すべき理由	コロナ禍を経て深刻な人手不足に陥る宿泊事業者に対し、生産性の向上と雇用の安定を図るため。	9
目的・内容	※② (1)業務効率化・生産性向上 補助上限 750千円/施設(下限額:50千円) 想定取組 スマートチェックインシステム導入等 対象経費 導入費及び機器等購入費、設置費、委託料等 (2)従業員の住環境の改善(従業員宿舍施設整備) ①更新(躯体工事を含む整備) 補助上限 2,000千円/戸(最大10戸分まで) 想定取組 原則として耐用年数を経過した社員寮の建替 対象経費 工事費及び工事事務費 ②改修(居室のリフォーム) 補助上限 250千円/戸(最大10戸まで)(下限額100千円/戸) 想定取組 キッチン・トイレ・浴槽改修・Wi-Fi整備等 対象経費 工事費及び工事事務費	9
補助金の主な使途	システム導入費、機器等購入費、委託料、工事費、工事事務費等	8
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③ 事業実施予定宿泊事業者の事業費の積み上げで積算。	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	繰越金なし	9
成果・費用対効果	※④ 令和6年度が補助初年度 成果については、今年度事業実績をもとに取りまとめたい。	9

①公益性	9
------	---

②必要性	9
------	---

③適格性	8
------	---

④効果	9
-----	---

令和7年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	観光交流課	観光企画係	記載者職・氏名	観光企画係長 福井 廉
新規	予算事業コード	4252		
No.	333	補助金名	フラワー都市交流事業補助金	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則フラワー都市交流事業補助金交付要綱			
総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興
	施策	戦略的な観光プロモーションを推進します		
補助対象者	事業に参加する下田市民		事務局等	観光交流課 観光企画係
補助金の性質	施策的補助			
補助開始年度	R7	補助終期設定	なし	補助率
				1/2
				1件当たり補助上限額
				10千円

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R08	100,000	0	100,000
R07	100,000	0	100,000
R06	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R06	0	0	0
R05	0	0	0
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	フラワー都市間における市民交流の促進を図るため、参加交流費用の一部を補助するもの。
国・県等の補助の有無 特定財源の内容	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	—
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	同事業への参加者が少なくなる等、影響が大きい。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	フラワー都市交流事業のみの対象とはなるが、広く市民に対し参加者を募集し、事業を行っていることから、公益性は高い。	9
市が補助すべき理由	※②	近年の物価高騰等に伴い、交通費等も高くなり、同事業参加負担の軽減を図るため、補助金を創設するもの。	9
目的・内容		補助金交付対象経費は交通費及び宿泊費とし(飲食経費は除く)、自己負担額の1/2以内(限度額10千円)	9
補助金の主な使途	※③	交通費、宿泊費	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		1人当たり10千円×10人=100千円	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越金なし	9
成果・費用対効果	※④	令和7年度が補助初年度 成果については、今年度事業実績をもとに取りまとめたい。	9

①公益性 9

②必要性 9

③適格性 8

④効果 9